

食材放射能測定申し込み方法

1. 試料申込点数と料金

試料は何点でもお申し込み頂けます。

測定料金としては食材試料 1 点あたり 500 円を申し受けます。

水または母乳等は試料 1 点あたり 2,000 円を申し受けます。

2. 測定の手順

申込みから測定終了までの手順は次のようになります。

申込み→測定予定日時の通知→測定予定日にご来所→測定結果のお受け取り

3. 申込み

申込みは次の方法のどれかひとつでできます。

A. 測定室窓口で「食材測定申込書」に直接記入で申込む

B. 「食材測定申込書」に記入して FAX または郵送で申込む

※ 2 回目以降の申込みについては電話でも受け付けます。

測定日に明細記入のある「食材放射能測定依頼書」に上記のどの場合もお申込者にご記入をお願い致します。

お申込者のご同意(契約)が必要な記入書類がありますので、測定日にご来所頂け、ご依頼に責任を持っていただける方が食材測定をお申込み下さい。

「食材測定申込書」は「食材放射能測定の注意点」「個人情報保護と測定データに関する基本方針」とまとめてホームページからダウンロードできます。

また、窓口にも用意してあります。

必要な場合、郵送または FAX でお送りします。

4. 測定予定日時の通知

測定予定日時が決まりましたら当方から測定予定日時をお知らせ致します。

また測定当日にご来所頂く際の留意点もご案内します。

測定が込み合っている場合は、こちらからのご連絡が遅れることがありますのでお待ち下さい。

5. 測定当日のご来所

測定予定日に測定室に申込者が直接ご来所いただき、調製済の試料を窓口にお出し下さい。

(試料の調製方法は本文下段にあります)

当測定室の「個人情報保護と測定データに関する基本方針」にご同意の上、正式に「食材放射能測定依頼書」をお出し頂きます。

依頼書には

お申込者のご氏名

住所

測定試料の採取地

採取日時

試料重量(容量)

採取地の空間線量(測定している場合)

地形の特徴

などを窓口でご記入頂きますので情報をご用意下さい。

その上で試料の測定を正式にお引き受け致します。

(「食材放射能測定依頼書」の記入しにくい点、不明な点は窓口で対応致します。)

6. 測定結果

測定結果は測定後、ご来所の際にお受け取り下さい。

お持込の試料は、測定後お持ち帰り頂きます。

◎測定予定日にご来所の際の注意点

1. 食材試料の調製

お持込頂く食材試料は、必要量をあらかじめ細かく切って(目安として5mm程度の大きさ)清浄な容器(ビニール袋かタッパなど)に入れてお持込み下さい。

必要量は1リットルです。

液体の場合も1リットル以上が必要です。(少ないと測定値の不確かさが大きくなります)

どうしても量がそろえられない場合はご相談下さい。

果実の皮、動物の臓物など不要部分を含めないで測定を希望される場合は、それらを除去して調製して下さい。

2. 食材試料のデータ

食材試料に関する明細な項目は「食材放射能測定依頼書」に記入して頂きます。記入できるようにご用意下さい。

印鑑をお持ち下さい。(三文判可)

3. 駐車場

当測定施設には使用できるビルの共用の駐車場が少しあります。利用できない場合は当所近傍の有料駐車場などをご利用下さい。

◎窓口、電話、FAX、郵送で受け付けております。

電話番号 0246-92-2526

Fax 番号 0246-92-2526

〒971-8162 いわき市小名浜花畑町 11-3 カネマンビル 3F

NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちね

◎ホームページ

<http://iwakisokuteishitu.com/>

◎関連書類

「食材放射能測定申込書」

「個人情報保護と測定データに関する基本方針」 測定日までにお読み下さい

「食材放射能測定の注意点」 測定日までにお読み下さい

申込みに関する書類等は一括して「各種資料」よりダウンロードできます。

また窓口にも用意してあります。文書「個人情報保護と測定データに関する基本方針」はご利用者様と当方のお互いのお約束です。測定日までにお読みください。

〒971-8162 いわき市小名浜花畑町 11-3 カネマンビル 3F

Tel/Fax0246-92-2526

NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちね

Iwaki Radio-Proof Centre, Tarachine

食材放射能測定の注意点

1. 食品放射能スクリーニングシステムについて

測定時点において物体内に蓄積している放射能の量を測定するものです。当測定室では食材のみを測定対象としております。食材内の放射性物質から放出されるガンマ線のスペクトルを検出測定し、食材に存在しているヨウ素131、セシウム134、セシウム137の量を算定するものです。アルファ線・ベータ線の測定は実施しておりません。

2. 測定対象食材の試料の調製

測定する食材はあらかじめ測定できるように調製されている必要があります。5ミリメートルほどの細片にして1,000グラム（カサとして1,000ミリリットル以上）をご用意下さい。果実の皮、動物の臓物など、不要部分を含めなくて測定なさりたい場合はそれを除去してください。小さい粒子状の食材はそのままで結構です。またどうしても1,000グラムをご用意できないものは500グラム（500ミリリットル以上）とします。試料量が小さくなると正確な値が得にくくなり測定データの不確かさが大きくなります。大まかなデータしか得られませんのでご注意下さい。

3. 測定情報について

ご利用者様にお読みいただき、ご同意いただきます文書「個人情報保護と測定データに関する基本方針」のとおり測定データを商取引のデータとしたり営利活動に使用されないようにお願いします。また他者との争闘・係争にもご使用なさぬようお願いいたします。なおそのような用途に直接使用するデータを得たい場合には当測定室ではなく、しかるべき測定機関がございますのでそちらをおたずね下さい。

また同じくご同意いただきますように、測定情報の限定された内容は測定室が提携する専門家の調査研究等に資するために使用することがあります。またその公益性を考慮して公表する場合がございますのでご了承下さい。その場合でも個人を特定できるような情報項目は使用することはありません。

4. 測定料金について

測定試料一検体30分の測定につき500円を、測定料金として申し受けます。

水または母乳等の液体試料は120分の測定につき2,000円を測定料金として申し受けます。

5. 測定施設について

測定室は商用ビルに設置されており、他社他店舗と設備を共用しております。他社業務のさまたげになりませぬようご配慮をお願い申し上げます。なお、そのために当方の測定業務が阻害される場合は測定をお断りする場合がございますのでご了承下さい。

当測定施設にはビル共用の使用できる駐車場が少しあります。利用できない場合は当所近傍の有料駐車場などをご利用下さい。

6. 測定要件の変更

測定の申込方法、測定料金、測定機器等が変更する場合がございます。予めご了承下さい。

7. 測定機器

つぎの測定器により土壌放射能の測定をしています。

① ATOMTEX AT1320A

2.5" x 2.5" Na I シンチレーションカウンター

検出下限：セシウム137 5.7Bq/L（規定条件において）

② Berthold LB2045

2.0" x 2.0" Na I シンチレーションカウンター

検出下限：セシウム137 10Bq/L（規定条件において）

〒971-8162 いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3F

Tel / Fax 0246-92-2526

いわき放射能市民測定室 たらちね

Iwaki Radio-Proof Centre, Tarachine

2013/04/01ver3.0

個人情報保護と測定データに関する基本方針

個人情報の保護

いわき放射能市民測定室（以下測定室）は個人情報の重要性を考慮し、その充全の保護につとめ、ご利用者様の信頼に応えるべく下記のように個人情報保護の方針を定めます。

1. 測定室では、ご利用者様の個人情報を以下の目的だけに使用しそれ以外には使用いたしません。
 - a. 測定結果をご利用者（測定ご依頼者）様に郵便、電話、電子メールなどでご通知すること。
 - b. 放射線防護のための各種イベントの開催などを郵便、電話、電子メールなどでお知らせすること。
 - c. もっぱら測定結果を評価し研究するために、限定された個人情報を測定室が提携する専門家が閲覧すること。
 - d. 一連の測定結果の公表が、公益性を考慮して必要であると考えられる場合に一部の個人情報を公表すること。

2. 提供され公表される場合の個人情報の項目

前項c.d.の場合に使用する個人情報は次のように限定し、個人を特定できる氏名、連絡先等は含まないこととします。

大字までの住所

大字までの試料採取地あるいは産地（食材土壌放射能の場合）

被災被曝時の居所（全身放射能、甲状腺の場合）

避難地および避難状況（全身放射能、甲状腺の場合）

測定値（測定内容）・測定日・年齢・性別

測定工程に必須の項目値（身長・体重など）（全身放射能の場合）

測定値に影響を及ぼす生活活動の内容等の情報

測定データの取扱い

原子力事故の被害を受けた地域住民の生活環境と健康な生存の防衛の一助となるように測定室を開設したのですから、測定室が一連の測定データに基づき地域住民の不安の解消および環境保全また心身の安全と健康に寄与すると考える場合は、当然にも社会的な行為および行政上の行為に積極的に関与します。

ただし測定データの取り扱いについては次のように考えます。

甲状腺検診は甲状腺の異常について検査するもので、放射線被曝の有無にかかわらず異状があれば検出されます。この検診結果のみによって被曝の有無を確定できるようなものでは有りません。この検診により、甲状腺の状態とその推移を把握し、考えられる被曝に対処しようとするものです。

全身放射能（ホールボディカウンタ）測定のデータは端的に被験者身体内部の被曝の有無多少を指示するものです。ただ個人の無視できない被曝についてどのような放射能被曝であるかの判断はより精密な測定に委ねるべきです。また被験者の生活活動を考慮して個別的に時間経過を計りながら考察し対策すべきものです。当測定室の測定データがそのような措置の目安となることは有意味なことです。しかし、当測定室のデータのみで何かの証跡として主張することは精細さを欠き、またわたしたちの能力を超えるものです。個々の測定データは測定時点における被験者の被曝状況を簡便に証するものとしてのみ有効と考えます。

また食材および土壌についての測定データはお引き受けした試料についてのデータです。測定試料はその試料が属する領域（自家作物の栽培地、購入品の栽培地・産地など）の作物および土壌を真に代表するものであるかは不確定です。したがって試料の測定データもその領域を代表するデータであるかは確定できません。ただそれら測定データ一群の解析により地域的な被曝の様相などが概観できるものです。この場合も個々の測定データは測定時点における測定試料の放射性物質の存否を簡便に証するものとしてのみ有効と考えます。

そのようなデータの性格上、ご利用者様にもたらされる個々の測定データについて、無用な混乱を避けるために次の二つの項目を、当測定室はご利用者様と合意するものとします。

1. 当測定室の測定値を商取引のデータとして使用しないことおよびその他の営利活動のデータとして使用しないこと。
2. 当測定室の測定値を他者との争闘、係争に使用しないこと。

個人情報と測定データ取扱いについて、わたしたちの基本的な方針を以上のように定め、当測定室を着実に運営していくこととしました。ご利用者様のご理解をお願いし、ご利用にあたってのご同意をお願いします。

平成25年3月15日

いわき放射能市民測定室 たらちね

Iwaki Radio-Proof Centre, Tarachine

2013/3/15 ver.3.0

